

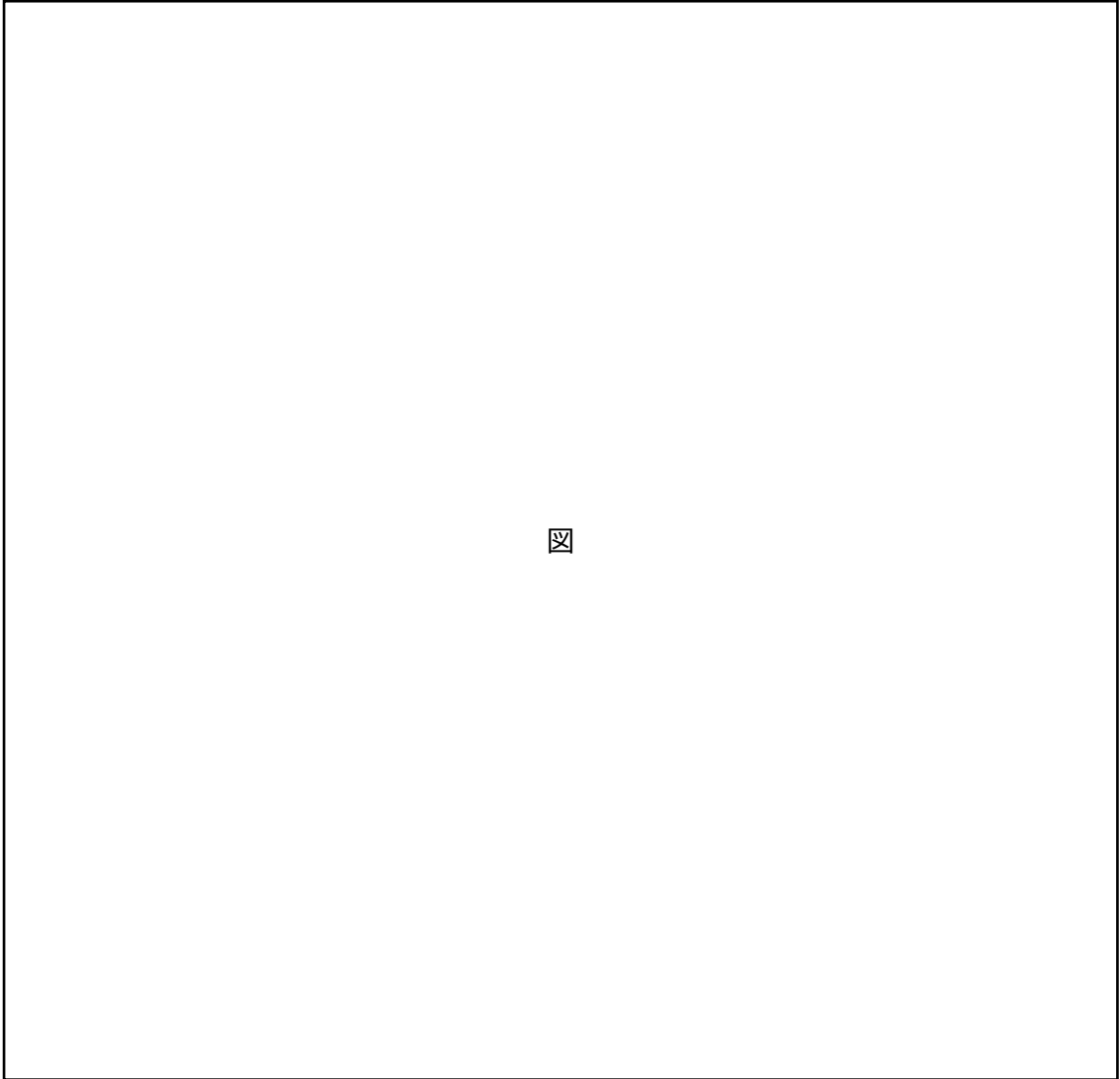
スポーツ分野の施策(案)

3. スポーツ分野

(1) スポーツとは

一定のルールが定められた競技スポーツだけではなく、ウォーキングやレクリエーションなど、気軽に楽しむことができる活動等もスポーツととらえます。

【スポーツ分野のイメージ図】



図

(2) 基本方針

①だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり

生涯にわたって心身ともに健康な生活を送れるよう、年齢、性別、国籍、障害の有無、ライフスタイルや興味・関心の度合い等に関わらず、だれもが気軽に取り組めるきっかけをつくります。

②みる・ささえる機会の提供

区民一人ひとりの生活がより健康で豊かなものとなるよう、プロスポーツ団体やアスリートの競技種目等を観戦する「みる」、指導者やスポーツボランティアとして参画する「ささえる」を推進します。

③スポーツを通した地域の活性化

スポーツのつながりから地域を活性化していくとともに、スポーツ団体等との連携・協働に加え、他分野との連携にも取り組みます。

(3) 施策

スポーツ分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
スポーツ	① だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり	ア 効果的な情報発信と相談体制の充実
		イ 始めやすく続けやすい環境づくり
		ウ ユニバーサルスポーツ等のさらなる普及促進
	② みる・ささえる機会の提供	ア 観戦のきっかけづくりと機会拡充
		イ ボランティア人材の育成と活動支援
		ウ 継続した指導者育成による技術の向上
	③ スポーツを通した地域の活性化	ア スポーツをきっかけにつなげる地域づくり
		イ 団体等との連携による持続可能な協働の推進
		ウ 分野間の連携による地域力の強化

①だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり

指標	現状値	目標値

ア 効果的な情報発信と相談体制の充実

スポーツを始めるきっかけにつなげるためには、必要な人に必要な情報が届き、自分にあった活動を見つけられることが重要です。

いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、区報等の紙媒体と各種デジタル媒体などの多様な手法を使い分け、適切な情報提供と案内機能の充実に努めます。

取組の例

■スポーツに関する情報の発信

区報、ホームページ、SNS、学校・地域団体等を通じた周知等、多様な媒体・経路を対象や内容に応じて使い分けます。参加者の声や活動の様子を発信し、スポーツの楽しさや参加後のイメージが伝わる情報の提供に努めます。

■スポーツに関する相談体制の整備

年齢、性別、体力、興味・関心、障害の有無、参加したい頻度や個人・団体といった希望に応じて、自分にあった教室、活動、施設等を見つけられるよう、相談・案内機能を充実させます。各種スポーツ団体やスポーツ推進委員等とも連携し、初めの一歩から継続的な活動につなげます。

イ 始めやすく続けやすい環境づくり

スポーツを始めるきっかけだけでなく、その人にあった形で続けられることが重要です。

身近な場所で気軽にスポーツを始め、継続することができるよう屋内・屋外施設の維持・管理・運営、区立学校、区内大学等と連携した環境の整備・活用の促進に取り組めます。

取組の例

■区民が気軽にスポーツを体験できる機会の提供

地域イベント等の来場者にとって身近な場所を活用し、一人でも参加しやすい体験機会を提供します。興味・関心や体力に応じて選べる内容とし、スポーツの楽しさを知るきっかけをつくれます。

■主体的にスポーツを楽しむ区民に向けた機会の提供

初心者向け教室等で関心をもった人が継続して参加できる場や、地域団体・サークル等の活動につなげます。自分のペースや目的に応じて、無理なく続けられる選択肢を案内します。

■ICT（デジタル）を活用した情報提供の充実

ICTを活用し、教室・イベントや施設利用等の利便性を高めます。場所や時間の制約がある人でも、動画等を通じて身近な場所で身体を動かすきっかけを提供することで、スポーツにふれ、続けられる選択肢を広げます。

ウ ユニバーサルスポーツ等のさらなる普及促進

ユニバーサルスポーツ等の普及に加え、参加する人それぞれが楽しさや達成感、人とのつながりを感じられる機会を広げることが重要です。

ユニバーサルスポーツ等に接する機会の充実を図ることで、障害の有無や年齢の違い等に関わらず、一緒にスポーツをする機会を増やし、理解を育みます。

取組の例

■ユニバーサル、インクルーシブスポーツを体験する機会の提供

ボッチャ、モルック等をはじめ、障害の有無や年齢等に関わらず、一緒に楽しめるスポーツを、地域の施設やイベント等で体験できる機会を充実させます。参加者同士が自然に交流し、それぞれの楽しみ方を見つけられる場づくりを進めます。

■ICT（デジタル）を活用した、競技イメージが伝わる情報発信の充実

ホームページや SNS、動画等を活用し、ユニバーサルスポーツ等のルールや楽しみ方、参加機会を発信します。未体験の人にも伝わる情報の発信により、関心から実際の参加につながります。

②みる・ささえる機会の提供

指標	現状値	目標値

ア 観戦のきっかけづくりと機会拡充

身近な場所で観戦できる機会を広げ、実際に観て、応援する楽しさを実感できる環境をつくることが重要です。

地域のスポーツ団体、大学、企業等と連携し、身近な環境でスポーツを観戦する機会の拡充に努めます。

取組の例

■身近な場所でスポーツを観戦・応援する楽しさを実感する機会の提供

地域のスポーツ団体や大学等と連携し、身近な場所で多様な競技を観戦・応援できる機会を広げます。競技の見どころや参加方法等をわかりやすく示すなど、初めて観戦する人が会場に足を運びやすい環境づくりを進めます。

イ ボランティア人材の育成と活動支援

競技やイベントに関わる人を、一方的に「担い手」として求めるのではなく、個人の希望する関わり方と活動側が求める役割を丁寧につなぐことが重要です。

スポーツ活動をささえるボランティア等の人材育成に努めるとともに、組織間の連携・協働を進め、スポーツをささえる区民活動を支援します。

取組の例

■「ささえるスポーツ」の担い手の育成

大会・イベント等の運営補助や情報発信など、スポーツをささえる多様な関わり方をわかりやすく紹介します。本人の希望、経験、参加できる時間等と活動内容をすり合わせ、初めての人も自分にあった役割から参加し、楽しさや人とのつながりを感じられるよう支援します。

■障害者スポーツを「ささえる」人材の育成

運営やサポート等に関心のある人が、自分にあった形で関わられるよう、障害者スポーツの競技特性や必要な配慮を学ぶ機会を設けます。障害の有無にかかわらず、ともにスポーツを楽しむ場でのささえる経験を通じ、継続的な交流や理解につなげます。

ウ 継続した指導者育成による技術の向上

スポーツを始め、楽しく続けていくためには、競技技術だけでなく、参加者の年齢、体力、目的や経験に応じて関わることができる指導者等の存在が重要です。

スポーツ推進委員、スポーツリーダー等をはじめとする指導者の確保・育成と継続的な学びを支援し、指導技術向上の取組を推進します。

取組の例

■スポーツ指導者等の育成

スポーツ推進委員、スポーツリーダー等をはじめ、スポーツを指導・支援する人材の育成を進めます。競技に関する知識・技能に加え、安全面や多様な参加者への配慮、コミュニケーション等を学ぶ機会を充実し、若い世代など新たな人材がスポーツへの関心や経験を活かして関われるきっかけを広げます。

■スポーツをささえる人材への活躍の場と機会の提供

指導や運営等に関心があり、学んだ知識や経験を活かしたい人が、本人の希望や得意分野に応じて活動できる場を見つけられるよう、地域の団体やイベント等とのつながりを支援します。情報交換や学び直しの機会を設け、「ささえる」が継続できる環境を整えます。

■指導者の技術向上による区民のスポーツ参加促進

指導者が、参加者の年齢、体力、経験、目標に応じた指導方法を学ぶことで、区民の誰もが安全に楽しみながら技術を習得できる環境を整えます。技術の向上を目指すだけでなく、健康づくりや楽しさを重視する人にも応じた指導につなげます。

③スポーツを通じた地域の活性化

指標	現状値	目標値

ア スポーツをきっかけにつなげる地域づくり

イベント等に参加する人自身が楽しみ、その結果として交流や地域への親しみが生まれる場を広げることが重要です。

年齢や障害の有無、国籍等に関わらず、多様な人と人とのつながりや結びつきを育み、スポーツを通じて地域がより魅力的になる取組を推進します。

取組の例

■スポーツを通じた地域間交流の機会の提供

地域や世代の異なる人が一緒にスポーツを楽しめる体験会、交流事業等を通じて、新たな出会いと交流の機会をつくります。スポーツ推進委員・ボランティアや町会等とも連携しながら、継続的な地域の関係づくりにつなげます。

イ 団体等との連携による持続可能な協働の推進

スポーツを継続的に楽しむには、区だけでなく、スポーツ団体等がそれぞれの強みを持ち寄り、無理なく続けられる形で協働することが重要です。

多様な主体との連携により、スポーツの魅力を知り、関心を持ち、楽しむ区民を増やしていくことで、持続可能な協働の体制を構築していきます。

取組の例

■アスリート等との連携強化

競技団体やアスリート等と連携し、競技の魅力を感じる観戦・交流・体験等の機会を充実します。参加者が目標や憧れを持ったり、これまで知らなかった競技に関心を広げるきっかけにつなげます。

■地域団体等と連携したスポーツに関する情報の展開

スポーツ団体、スポーツ推進委員、町会・地域団体、学校・大学等と情報を共有し、それぞれが持つ広報手段やネットワークを活かして、教室、イベント、活動等の情報を届けます。地域で実際に活動する人の声を活かし、受け手に伝わる発信を進めます。

■地域団体等と連携したスポーツを楽しむ機会の提供

地域の祭りやイベント等と連携し、気軽に身体を動かせる体験など、スポーツに関心が低い人も参加しやすい環境づくりを進めます。多様な世代が楽しめる内容にすることで、地域の新たな交流や継続的な活動につなげます。

ウ 分野間の連携による地域力の強化

参加者の興味・関心から他分野の活動へと広げていけるような連携が重要です。学習活動、文化芸術、観光、国内・国際交流の取組とスポーツを組み合わせ、多様なスポーツ資源や人材がつながることで、地域への愛着や新たな活動につなげます。

取組の例

■他分野と連携した事業の実施

学習活動、文化芸術、観光、国内・国際交流の各分野と連携し、スポーツを入口として他分野への興味・関心につながる事業を展開します。参加者が他分野の楽しさや魅力にふれることで、分野を越えた継続的な参加や交流につなげます。